



令和8年(2026年)3月18日(水)

○展示関係：平和記念資料館 学芸展示課 課長：豆谷
(電話：242-7796 内線 5804 担当：落葉、石田)

○ミュージアムショップ：平和記念資料館 運営企画課 課長：西本
(電話：241-4004 内線 5801 担当：門井)

○寄附箱：経営管理部 経営管理課 課長：山根
(電話：241-5246 内線 5800 担当：豊田)

広島平和記念資料館東館1階「ヒロシマは訴える」コーナー及び ピース・クリエーション・ファクトリー(ミュージアムショップ) オープニングセレモニーの開催について

広島平和記念資料館では、緊迫する今日の国際情勢の中で、これまで以上に核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向けた国際世論の醸成を図り続けていくことが重要との認識の下、資料館の見学動線の最後の東館1階情報コーナーをリニューアルし、「ヒロシマは訴える」コーナーを設置しました。

合わせて、同フロアに平和を願うヒロシマの心を大切に持ち帰っていただくため、新たなオリジナル・ピース商品を充実させた「ピース・クリエーション・ファクトリー」(ミュージアムショップ)を整備しました。

つきましては、その完成を記念して、以下のとおりオープニングセレモニーを開催します。
なお、ピース・クリエーション・ファクトリーは3月5日よりプレオープンしています。

- 日時 令和8年(2026年)3月28日(土)13時30分～
- 場所 平和記念資料館東館1階「ヒロシマは訴える」コーナー及び
地下1階メモリアルホール
- 次第 I. オープニングセレモニー 於：地下1階メモリアルホール
13:30 開会
主催者及び来賓挨拶
中満泉国連事務次長メッセージ紹介、祝電披露
展示の趣旨説明・映像上映
II. テープカット 於：東館1階「ヒロシマは訴える」コーナー
14:10 テープカット
14:15 閉会

4 市政記者クラブの取材に当たってのお願い

- 取材を希望する方は、13時10分に東館地下1階メモリアルホールに集合してください。
取材の要領を説明します。
- 取材に当たっては自社腕章の着用をお願いします。





- ・当日は、別図で示した範囲内での取材に御協力をお願いします。
- ・メモリアルホールからテープカット会場への移動は係員の誘導に従ってください。

5 「ヒロシマは訴える」コーナー
別紙参照

報道関係者への内覧会の実施について

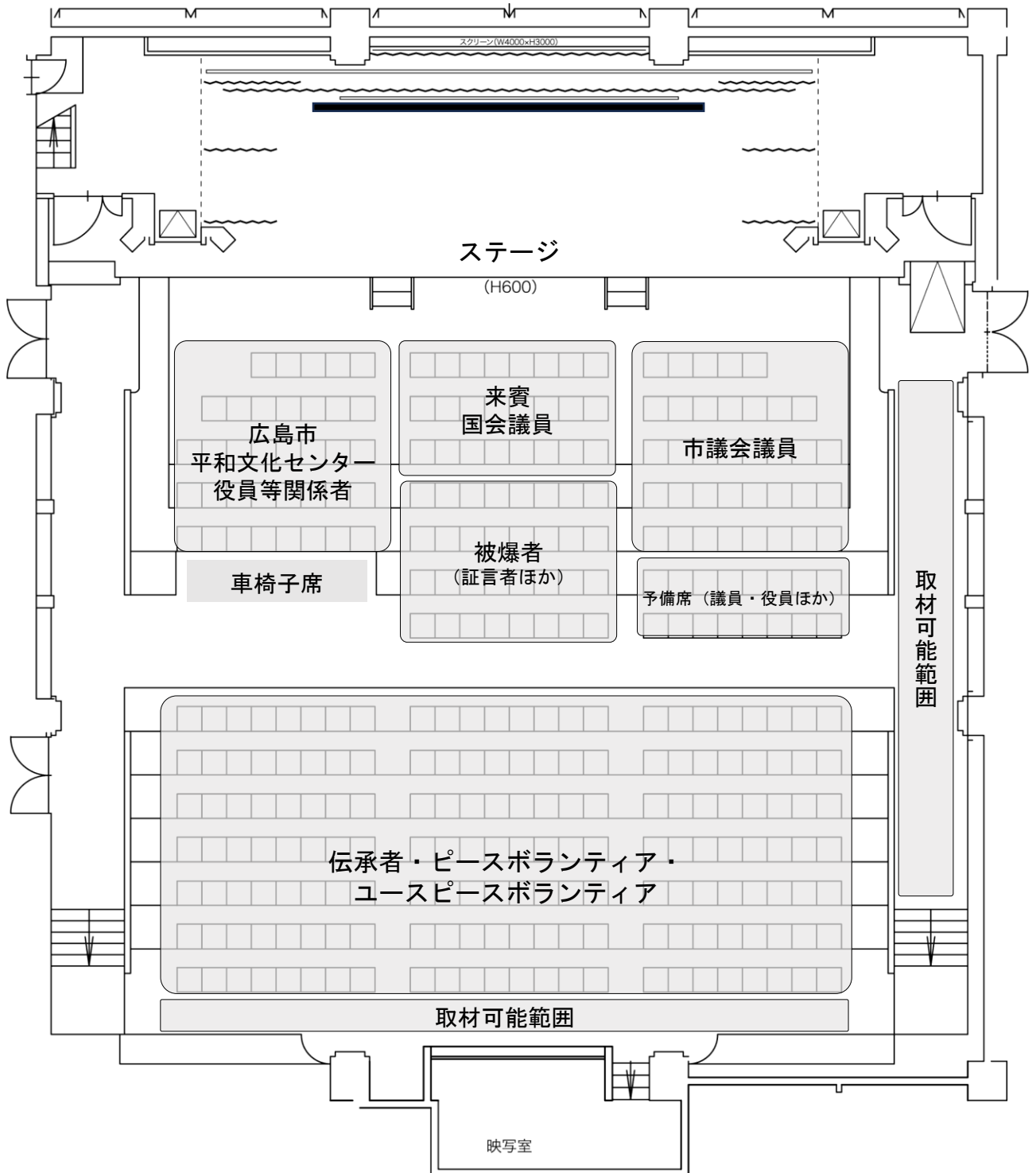
「ヒロシマは訴える」コーナーの供用開始前日に報道関係者向けに事前公開します。

- 1 日 時 令和8年（2026年）3月27日（金）14時～15時
- 2 場 所 平和記念資料館東館1階「ヒロシマは訴える」コーナー
- 3 その他
 - ・取材を希望される方は、13時50分に東館1階ロビーに集合してください。
 - ・取材に当たっては自社腕章の着用をお願いします。
 - ・現地では展示について、広島平和文化センター谷副理事長から説明を行います。

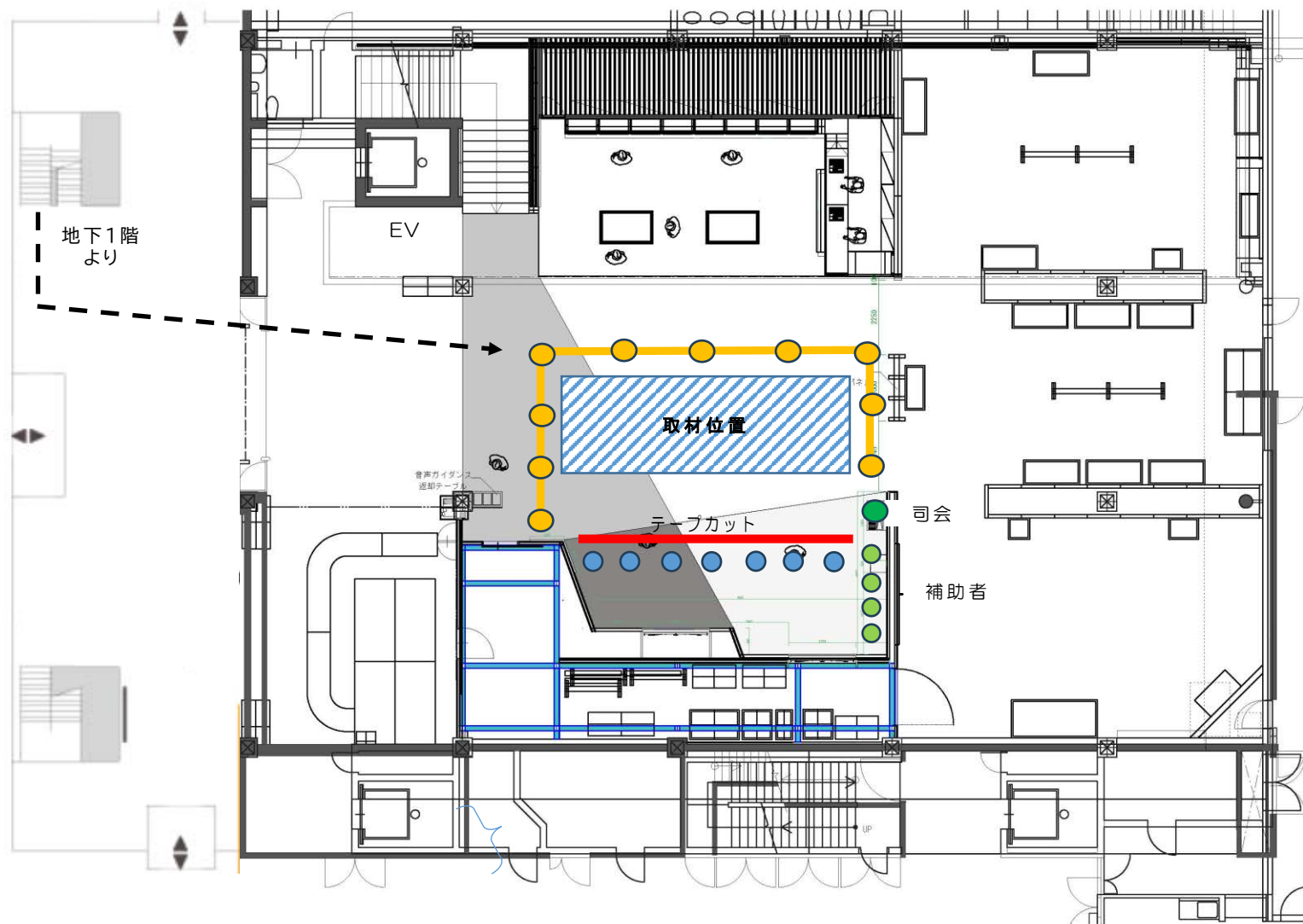


令和8年3月28日(土)13:30～
オープニングセレモニー
平和記念資料館メモリアルホール

会場内配席図



オープニングセレモニー（テープカット）会場図【東館1階】



「ヒロシマは訴える」コーナーについて

【構成】

1 被爆者は証言する

(1) 展示手法：映像(86インチモニター)

(2) 上映時間：約6分

(3) 内容

被爆者9人の証言映像を基に、「放たれた破壊力」、「一瞬で消えた街」、「変わり果てた人の姿」、「むしばみ続ける放射線」など核兵器の使用が都市や人間に壊滅的な被害をもたらすことを示し、それを踏まえた「こんな思いを他の誰にもさせたくない」という被爆者の思いを伝える。映像は、(公財)広島平和文化センターが制作した被爆者証言ビデオや今回の展示にあわせて新たに撮影したものを使用し制作

2 人類は核兵器とは共存できない

(1) 展示手法：スライドショー(86インチモニター)

(2) 上映時間：約5分

(3) 内容

被爆者の粘り強い取り組みが原動力となった、2010年NPT再検討会議最終文書での言及、核兵器禁止条約の成立、日本被団協のノーベル平和賞受賞などの国際社会の動きにも関わらず、核軍縮が停滞し、使用の危険さえ現実のものとなっていることを示す。ヒロシマは国連、核兵器廃絶を求める諸国、世界中の諸都市、国際NGO、そして若い世代と強く連帯しており、来館者の皆様とともに、核兵器がなくなるその日を目指していきたいということを強く訴える。

3 ノーベル平和賞のメダル(複製)

(1) 展示手法：展示ケース内に展示

(2) 内容

メダル(複製)は、ノーベル平和賞の選考を行うノルウェー・ノーベル委員会のヨルゲン・バトネ・フリードネス委員長が2025年(令和7年)7月22日に広島を訪れた際に広島市へ貸与されたもの(貸与期間 2027年12月31日まで)

ノーベル平和賞受賞者に授与されるもので、2024年(令和6年)12月10日に日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)にも同様のものが授与された。

4 寄附箱

(1) 設置の趣旨

核兵器廃絶に向けた世論の醸成に向け、(公財)広島平和文化センターが実施する平和に関する事業について、寄附を募る

(2) 寄附の方法

現金及びオンラインでの寄附